

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月2日

上場会社名 アイカ工業株式会社
 コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 修
 問合せ先責任者 (役職名) 財務企画部長 (氏名) 百々 聡
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 名

TEL 052-409-8261

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 67,014 | | 5,450 | | 5,626 | | 2,876 | |
| 20年3月期第3四半期 | 72,137 | 2.8 | 7,467 | 3.4 | 7,693 | 2.1 | 4,355 | 8.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 43.56 | 43.55 |
| 20年3月期第3四半期 | 65.61 | 65.60 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|------|----------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | 88,216 | 65,203 | 73.1 | 1,004.53 | | |
| 20年3月期 | 88,078 | 66,744 | 75.1 | 996.07 | | |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 64,505百万円 20年3月期 66,122百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | | 15.00 | | 13.00 | 28.00 |
| 21年3月期 | | 15.00 | | | |
| 21年3月期(予想) | | | | 15.00 | 30.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 96,000 | 0.0 | 8,100 | 15.1 | 8,300 | 15.1 | 4,700 | 12.9 | 71.68 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 69,890,664株 | 20年3月期 | 69,890,664株 |
| 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 5,676,433株 | 20年3月期 | 3,507,117株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 66,021,196株 | 20年3月期第3四半期 | 66,385,001株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、2ページ[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の急激な減速による企業収益や雇用環境の悪化、個人消費の冷え込みなどを背景に、景気は減速感を一段と強めました。

建築業界におきましては、個人所得の悪化や設備投資の減少、低調な公共投資などにより住宅・非住宅とも総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境にありまして当社グループは、市場の低迷を打開するため営業活動の強化や新商品の開発に積極的に取り組むとともに、グループをあげて生産効率の向上、経費節減など各種コスト削減に積極的に取り組みました。

(化成品セグメント)

環境配慮型商品である弾性接着剤や土木建築用途の剥落防止用エポキシ樹脂は好評でしたが、木工・家具用途向けの接着剤や外装・内装仕上塗材などは、市況の低迷により苦戦を強いられました。

(建装材セグメント)

建装材商品は、メラミン化粧板の新柄の発売やメラミン化粧板・不燃化粧材・化粧フィルム等の柄連動システムなどにより販売強化を図ってまいりましたが、店舗・商業施設や住宅市場の低迷、アミューズメント施設などでの設備投資の落ち込みにより、厳しい状況で推移いたしました。

(住器建材セグメント)

インテリア建材はクリニック&高齢者向けが好評でしたが、住宅市場の低迷もあり苦戦を強いられました。また、戸建住宅への商品提案やリフォーム市場向けに短納期対応商品の拡充、不燃化粧材「セラー」のキッチン以外への用途拡大などに努めましたが、全体では市況の低迷もあり厳しい状況で推移いたしました。

(電子セグメント)

プリント配線板は、高速伝送設計・電磁波障害対策などの分野で好評を博したものの、国内半導体需要の大幅な落ち込みにより厳しい状況で推移いたしました。また、電子材料は、海外を中心とした市況の急激な落ち込みにより苦戦を強いられました。

(その他セグメント)

有機微粒子は、化粧品用、塗料用向けが比較的安定に推移しましたが、国内外向けの光拡散材用途が市況の急激な落ち込みにより苦戦を強いられました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は67,014百万円(前年同期比7.1%減)、経常利益は5,626百万円(前年同期比26.9%減)、四半期純利益は2,876百万円(前年同期比34.0%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ0.2%増加し、88,216百万円となりました。主な資産の増加は「受取手形及び売掛金」が1,456百万円増加したことなどによるものです。負債は前連結会計年度末に比べ7.9%増加し、23,012百万円となりました。主な負債の増加は「支払手形及び買掛金」が2,077百万円増加したことなどによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2.3%減少し、65,203百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」で2,876百万円の増加と、「剰余金の配当」で1,858百万円の減少及び「自己株式の取得」で2,003百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.0ポイント低下し、73.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点で平成20年度11月5日公表の予想数値の見直しを行っておりません。ただし、国内外での景気後退が急速に進むなど、想定した事業環境が大きく変化しているため、今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示致します。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3) 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益及び経常利益が33百万円、税金等調整前四半期純利益が62百万円減少しております。

なお、セグメントに与える影響は、当該箇所に記載しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,207 | 16,839 |
| 受取手形及び売掛金 | 34,006 | 32,550 |
| 商品 | 444 | 268 |
| 製品 | 3,944 | 3,931 |
| 半製品 | 173 | 197 |
| 原材料 | 1,509 | 1,426 |
| 仕掛品 | 278 | 311 |
| 貯蔵品 | 123 | 117 |
| その他 | 2,397 | 2,432 |
| 貸倒引当金 | 27 | 9 |
| 流動資産合計 | 59,057 | 58,064 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 18,980 | 18,939 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 63 | - |
| その他 | 1,940 | 2,237 |
| 無形固定資産合計 | 2,003 | 2,237 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 8,175 | 8,837 |
| 貸倒引当金 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産合計 | 8,174 | 8,836 |
| 固定資産合計 | 29,158 | 30,014 |
| 資産合計 | 88,216 | 88,078 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,653 | 14,576 |
| 短期借入金 | 635 | 399 |
| 未払法人税等 | 50 | 1,836 |
| 賞与引当金 | 600 | 1,217 |
| その他 | 4,243 | 2,458 |
| 流動負債合計 | 22,183 | 20,488 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 310 | 283 |
| 負ののれん | - | 8 |
| その他 | 518 | 552 |
| 固定負債合計 | 829 | 845 |
| 負債合計 | 23,012 | 21,333 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,891 | 9,891 |
| 資本剰余金 | 13,745 | 13,744 |
| 利益剰余金 | 45,487 | 44,603 |
| 自己株式 | 4,925 | 2,923 |
| 株主資本合計 | 64,199 | 65,316 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 358 | 826 |
| 繰延ヘッジ損益 | 20 | 12 |
| 為替換算調整勘定 | 32 | 8 |
| 評価・換算差額等合計 | 306 | 806 |
| 新株予約権 | 18 | 13 |
| 少数株主持分 | 679 | 609 |
| 純資産合計 | 65,203 | 66,744 |
| 負債純資産合計 | 88,216 | 88,078 |

